



福岡医発第 2080 号 (地)

令和 5 年 11 月 17 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて

標記の件につきまして、厚生労働省医薬局血液対策課より日本医師会及び福岡県保健医療介護部薬務課薬事係を通じて、別添のとおり連絡がありました。

人免疫グロブリン製剤については、令和 5 年 5 月 23 日付け福岡医発第 560 号 (地) にて、近年の需要の増加により在庫が逼迫し、血漿分画製剤の製造販売業者より限定出荷が行われている中で、安定供給の確保のためにも、必要量以上の大量購入や買い占めの行動を控えていただくようお願いしていたところです。

今般、人免疫グロブリン製剤について、一部の医療機関による大量購入等もあり、入手が困難な医療機関が散見されていることから、令和 5 年度需給計画を変更し、輸入製剤が追加輸入されることとなりました。

併せて、血漿分画製剤は、製造に時間を要すること、献血由来の製品であるため製造本数に限りがあることから、安定供給の確保のためにも、引き続き必要量以上の大量購入や買い占めの行動を控えていただくよう依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 肥山淳一郎
会長 島田昇二郎

令和 5 年 1 0 月 2 4 日

都道府県医師会担当理事 殿

公益社団法人日本医師会常任理事

宮 川 政 昭

（公印省略）

人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課より各都道府県等衛生主管部（局）宛てに標記の事務連絡が発出され、本会に対しても周知方依頼がありました。

人免疫グロブリン製剤については、令和 5 年 4 月 2 4 日付け日医発第 237 号（技術）を以て、近年の需要の増加により在庫が逼迫し、血漿分画製剤の製造販売業者より限定出荷が行われている中で、安定供給の確保のためにも、必要量以上の大量購入や買い占めの行動を控えていただくようお願いしていたところです。

本事務連絡は、人免疫グロブリン製剤について、一部の医療機関による大量購入等もあり、入手が困難な医療機関が散見されていることから、令和 5 年度需給計画を変更し、輸入製剤を追加輸入することについての周知を依頼するものです。

併せて、血漿分画製剤は、製造に時間を要すること、献血由来の製品であるため製造本数に限りがあることから、安定供給に向けた周知が依頼されておりますので、改めて、一部の医療機関によるものとのことではございますが、必要量以上の大量購入や買い占めの行動を控えていただくことについての周知について、ご高配いただきたく存じます。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会管下関係医療機関等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和 5 年 10 月 20 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省医薬局血液対策課

人免疫グロブリン製剤の安定供給に向けた周知について

平素より厚生労働行政にご尽力いただきありがとうございます。

今般、「人免疫グロブリン製剤の安定供給に向けた周知について」につきまして、別添 1 のとおり各都道府県、保健所設置市、特別区の衛生主管部（局）宛てに通知したところですので、貴下団体会員等に周知方よろしくお取り計らい願います。



別添1

事務連絡
令和5年10月20日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医薬局血液対策課

人免疫グロブリン製剤の安定供給に向けた周知について

血漿分画製剤の安定供給につきまして、平素よりご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

人免疫グロブリン製剤については、近年の需要の増加により在庫が逼迫し、製造販売業者が限定出荷を実施しております。

令和5年4月19日付け事務連絡「人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて」により、今後の安定供給等についてお知らせしたところですが、一部の医療機関による大量購入等もあり、入手が困難な医療機関が散見されています。

今般、厚生労働省は、令和5年度需給計画を変更し、輸入製剤を追加輸入することとしました。これにより、令和4年度の供給実績（約260万本）を上回る約310万本が令和5年度の製造・輸入量となる見込みです。

厚生労働省は、令和6年度以降も人免疫グロブリン製剤の安定供給の確保に務めてまいります。血漿分画製剤は、製造に時間を要すること、献血由来の製品であるため製造本数に限りがあることから、安定供給に向け、貴管下関係医療機関、医薬品卸売販売業者等へ周知をお願いいたします。

令和5年度需給計画の変更箇所（人免疫グロブリン製剤）

（2.5g換算 単位：本）

	需要見込	計	製造・輸入目標量			令和4年度末在庫量（見込）	供給可能量
			国内血漿由来	輸入血漿由来	遺伝子組換え		
変更後	<u>2,731,600</u>	<u>3,105,700</u>	2,386,600	<u>719,100</u>	—	623,000	<u>3,728,700</u>
変更前	<u>2,572,000</u>	<u>2,886,800</u>	2,386,600	<u>500,200</u>	—	623,000	<u>3,509,800</u>

※下線は変更箇所

公印省略

5 薬 第 1 3 5 1 号
令和5年10月25日

公益社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部長
(薬務課薬事係)

人免疫グロブリン製剤の安定供給に向けた周知について

標記について、厚生労働省医薬局血液対策課から別添のとおり通知（令和5年10月20日付事務連絡）がありましたので、貴会会員に対して周知をお願いいたします。